

安全の確保が問われる

6月9日のぞみ265号での殺傷事件により、3名のお客様が死傷という痛ましい事件が発生しました。犯人に立ち向かい亡くなられたお客様のご逝去を悼み心よりお悔やみ申し上げます。

また、当該列車に乗務し、お客様に「シートを外し、盾のよう^{たて}にしてください」と呼びかけ、自らもトランクで防御しながら犯人と対峙した車掌の行動に敬意を表するしたいです。

新幹線では過去に2015年「放火による死傷事件」、2016年「包丁による車掌の傷害事件」がありました。事故に対してお客様の安全を守ることは日常の訓練等で周知されていますが、凶器を持った犯行という事件については有効な手段がないのが現実です。

マスコミ報道からも「列車に専門的な訓練を受けた警備員を常駐させることが必要になるかもしれない」という意見もあります。

「安全の確保は輸送の生命」・・・

今後、凶悪事件にどのように対処するのか、お客様の生命を守るために乗務員にとって何が必要なのか、真剣に考えることが問われています。みんなで考え、会社に訴えていきましょう。

